

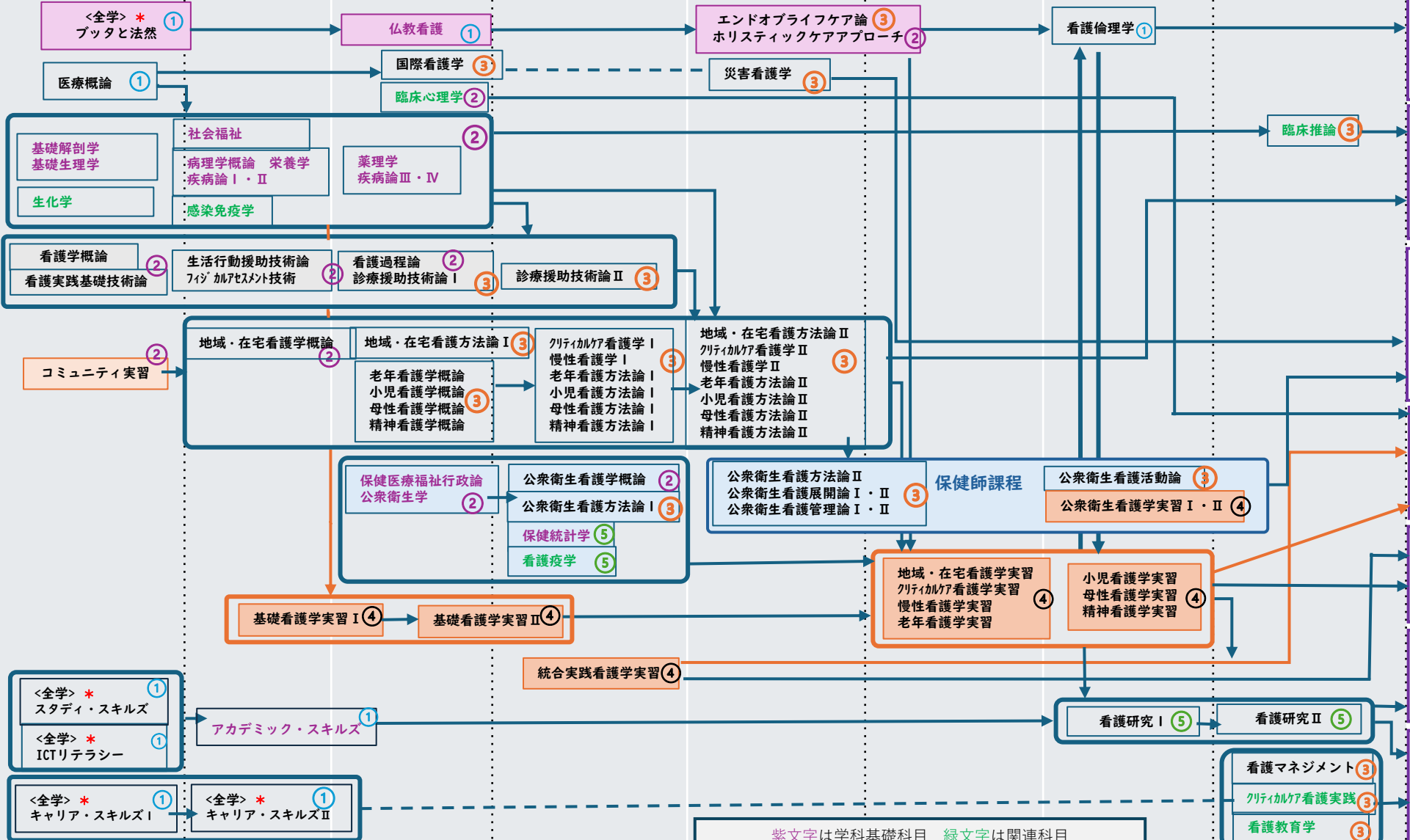
【養成人材像】

豊かな人間性と倫理観を基盤に看護職として人を思いやり共感できる人材を養成する。あわせて、看護学の学識と基礎的な看護実践能力、対象を理解し支援するためのコミュニケーション力、多職種と協働する力、自己研鑽する力、研究的思考やグローバルな視点を備え、地域社会や人々の健康に貢献できる人材を養成する。

AP	CP	1年生	2年生	3年生	4年生	DP (ディプロマ・ポリシー)
----	----	-----	-----	-----	-----	-----------------

【看護学部教育課程の土台となる全学DPおよび関連するCPの共通教養科目\*】  
 DP1: 仏教精神に基づく4つの力、①自分を客観的にとらえる力、②目標に向かって継続し努力する力、③周りの人を思いやる力、④多様性を受け入れて協力する力、を身につけ、専攻する学問分野の知識や技能と統合して活用することができる。☑「仏教・自校教育科目群: **ブッタと法然**」  
 DP2: 社会人として必要な幅広い教養や、専攻する学問分野の体系的な理解に不可欠な多様な知識・技能を身につけ、活用することができる: 次の①~④のことができる。  
 ①多文化・異文化に関する知識により、多様な視点で物事を考える ☑「グローバル科目群: 必修外国語(英語)」 ②文化、自然、社会に関する知識により、体系的に物事を考える ☑「自己形成科目群: 選択科目」 ③ICTを活用して、多様な情報を収集・分析し、効果的に活用する ☑「データサイエンス科目群: ICTリテラシー」  
 ④自己理解を深め、職業観を持ち、自らのキャリアを決定する ☑「初年次教育科目群: スタディ・スキルズ、キャリア・スキルズI, キャリア・スキルズII」

- 1) 知識・技能
- AP1: 看護学を学ぶために必要な基礎学力を備え、学習を継続する力をもっている人
- AP2: 看護職に求められるスキルを高め、地域で生活する人々の健康に貢献したいという意欲がある人
- 2) 思考力・判断力・表現力
- AP3: 看護学を学び、豊かな感性と論理的に考え判断する力、情報を活用する力を身につけようとする努力ができる人
- AP4: 他者の考えを知るとともに、自分の考えを自分の言葉で表現できる人
- 3) 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
- AP5: 人への深い関心をもち、人の可能性を信じ、自分も他者も大切にできる人
- AP6: 他者を思いやることができ、多様な人と主体的にコミュニケーションをとることができる人



- DP1: 豊かな人間性と倫理観を基盤に、看護職として人を思いやり共感できる  
【仏教精神】 CP1
- DP2: 看護学および隣接領域に関する学識と基礎的な看護実践能力を身につけている  
【知識・理解×汎用的技能】 CP2, 3.
- DP3: グローバルな視点を持ち、地域社会やあらゆる環境下において生活する人々の健康に貢献できる力を身につけている  
【知識・理解×汎用的技能】 CP2, 3, 4
- DP4: 看護の対象を理解し支援するための適切なコミュニケーション力を身につけている  
【態度・志向性】 CP4
- DP5: 多職種連携における看護職の役割を理解し協働できる  
【態度・志向性】 CP4
- DP6: よりよい看護を追求するための研究的思考を身につけている  
【態度・志向性】 CP5
- DP7: 社会の変化や保健・医療の高度化・情報化に関心をもち自己研鑽する力を備えている  
【学びと成長への内発的動機】 CP1, 5

紫文字は学科基礎科目 緑文字は関連科目